

発言N.O. 9

受付N.O. 2

平成 26 年 8 月 22 日
16 時 29 分 受付

発 言 通 告 書

議席番号 3 番 氏名 柳樂 真智子

発 言 の 種 別 (項目を○で囲む)	質疑	個人一般質問	緊急質問
答弁を求める者 (該当者を○で囲む)	(市長) 教育委員会委員長 監査委員 選挙管理委員会委員長 農業委員会会长 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長		
項目番号	発言項目及び要旨		
1.	<p>豪雨災害について</p> <p>昨年の8月に島根県西部を襲った集中豪雨災害から1年を迎えました。</p> <p>復旧工事を進められているところでありますが、まだまだ手つかずの場所もあり、特に、住宅の周りに災害カ所がある方々は、また崩れるのではないかと雨が降る度に心配をされていることと思います。</p> <p>昨年、12月議会で初めて的一般質問をさせていただいたのが、災害時の対策についてでありました。</p> <p>先日は、広島県安佐北区・安佐南区で多数の死者・行方不明者を出す、大きな豪雨災害が起こっております。この地方では15年前にも死者の出る災害が起こっており、危険区域などの見直しをされたにも関わらず、今回被害を受けた地区は危険区域に指定されていない場所であったと聞きました。</p> <p>12月の一般質問の際、浜田市でも災害時の対応について見直しをされるとの答弁を頂きました。</p> <p>① 情報伝達手段について改善や、新しく取り入れられた取組があるのか伺います。</p> <p>② 避難場所の見直しについての答弁の中で、現在実施されている避難所調査の結果を踏まえながら、今後検討していかれるとのことでした。調査の結果と見直しについて伺います。</p> <p>③ 高齢化がどんどん進む中、これからますます要援護者の数が増えると思います。現在の自治区別の要援護者数と、その方々に対する 援護者がしっかりと確保されているのか伺います。</p>		

項目番号	発言項目及び要旨
2.	<p>高齢者福祉について</p> <p>(1) 高齢者の地域活動ボランティアのポイント制度推進について</p> <p>団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据えて、高齢者が地域で安心して暮らせるために、地域包括ケアシステムの構築の取組が進められています。</p> <p>この取組の中で元気な高齢者については、要介護状態にならないための「生きがいづくり」や「社会参加促進」などの、介護予防につながる施策を行うことも重要とされています。それぞれの地域の実情や特性を踏まえ、関係機関等が連携をとりながら進めることが重要だと考えます。</p> <p>先進市では、介護施設でボランティア活動をした高齢者に対し、換金可能なポイントを付与する「介護支援ボランティア」の取組が行われています。換金できるといつても金額はわずかで、それぞれの自治体によっていろいろですが、横浜市では1回の活動につき200ポイントが取得でき、1ポイントが1円。年間8000ポイントまで換金できる仕組になっています。</p> <p>視察で伺った北杜市ではもっと低く、年間5000円が上限となっていますが、ボランティアの方たちからは、金額の問題ではない。社会参加ができる自分なりの地域貢献ができればいいとの声があり、喜んで活動されていると伺いました。</p> <p>浜田市でも地域の高齢者に対し、手作り弁当を届けておられるグループがあると伺っています。このような活動が行われることで、地域の見守りにつながり、孤立者を少なくできるのではないかと思います。</p> <p>今後、浜田市でもボランティアのポイント制の導入を考えておられるのか伺います。</p>
(2)	<p>高齢者の見守りについて</p> <p>6月議会で質問しました、高齢者の見守りについてその後進展があったかを伺います。</p>
3.	<p>地域の保全作業（草刈）について</p> <p>人口減少にともない、町内会によつては高齢者世帯がほとんどであつたり、世帯数の減少で道路の草刈りが困難な地域があります。そうとは言つても草を伸び放題にするわけにもいかず、高齢者が無理をして刈られたり、一人の方が一手に背負われたりという声も聞いています。</p> <p>今後このような地域は増えていくものと考えられますが、市として何らかの対策を考えておられるか伺います。</p>